**火薬学会研究発表会講演の題目**

**English title of your presentation for the annual meeting of JES**

○火薬 学\*，煙火 花子\*\*

\*火薬学会，\*\*日本火薬工業会

○Manabu Kayaku\* and Hanako Enka\*\*

\*Japan Explosives Society, \*\*Japan Explosives Industry Association

jes-info@jes.or.jp

**1. はじめに**

このファイルは，一般社団法人火薬学会が主催する秋季研究発表会で使用する講演要旨集用の原稿様式（**現地開催時の秋季研究発表会専用**）です。

編集作業の都合上，**原稿提出の締切日時までに講演要旨の原稿ファイルを送付**してください。締切日時以降に提出された場合は，講演要旨集に掲載されない可能性がありますので，締切日時は厳守願います。

火薬学会が発行する研究発表会講演要旨集の著作権は，火薬学会に帰属することを，2022年度より明記することになりました。そのため，提出頂きます要旨は，著作権等を火薬学会に移譲していただくことになります。また，このフォーマットにありますように，各要旨の1ページ目下部余白に，火薬学会の著作権表示を入れることになりました。ただし，著作権等の移譲は，講演要旨集に掲載された最終版のみを対象とし，利用した元データや原図等は移譲の対象となりません。また，発表者自身（連名者含む）による講演要旨集掲載版の利用については，原則許可するものとして，出典の記載を条件に，火薬学会の許諾を必要としないものといたします。なお，これら著作権等の扱いについては，申込者が責任をもって連名者全員の承諾を得てください。

**2. 原稿執筆要領**

原稿はA4用紙**2枚又は4枚の偶数枚に収まるよう**に，Microsoft Word等のワードプロセッサーソフトを用いて作成してください。1行40字，1頁あたり35行とし，上余白は15 mm，左右下余白は20 mmとしてください。フォントの大きさは10.5ポイント前後としてください。

研究者が連名の場合，講演者（登壇発表者）名の頭に〇を記入してください。また，所属英語名の次行に，**講演者のメールアドレスを必ず記載してください。講演者が学生の場合には，指導教官1名のメールアドレスも併記してください。**

文字化けを防ぐため，JIS第二水準以内の漢字コードを使ってください。特に，ローマ数字や丸付き数字などの特殊記号については，閲覧する環境によって文字化けすることがありますので，利用に注意してください。

図1 問い合わせ先

〒106-0041

東京都港区麻布台2-3-22

一乗寺ビル3F 日本火薬工業会内

火薬学会 宛

電話：03-5797-8750

e-mail：jes-info@jes.or.jp

**現地開催時の秋季研究発表会では，講演要旨集は白黒印刷冊子としますので，カラー図版はグレースケールに変換してください。**カラー図版のままで送付された場合，見づらい印刷になってしまうことがありますので，ご注意ください。

図のタイトルは下側に，表のタイトルは上側に，それぞれ付記してください。なお，本フォーマットの図の例（図1）には枠線を利用していますが，枠線は必須ではありません。自由に設定してください。

文字を入れた図を他のソフトで作成した場合，コピーの方法（メタファイルを選択するなど）によっては文字化けや回転など意図しないものになってしまうことがありますので，画像フォーマット（BMP，JPEG，PNG，GIFなどの形式）で作成や変換する，文字はワードプロセッサーソフトで入れる，などの対策をとってください。

参考文献の記載は，第3項を参考に，EXPLOSION誌に準拠した記載としてください。

著者と編集者との環境の相違から，著者のイメージ通りに編集されない可能性がありますので，第4項を参考にPDF形式に変換し，元のファイルとともに送付してください。ファイル名は「ローマ字氏名.拡張子」としてください（kayaku\_manabu.pdfなど）。

**3. 参考文献の記載例（EXPLOSION誌に準拠）**

1) M. Kayaku, H. Bakuhatsu, and M. Anzen, Sci. Technol. Energ. Mater., 78, 550-560 (2017).

2) 山田太郎，鈴木一郎，火薬学会誌，55，351-356 (1994).

3) C. Lewis, R. Walsh, and R. Becerra, J. Am. Chem. Soc., 93, 250-254 (1971).

4) 本多弘吉，「地震波動」，p.76，岩波書店 (1954).

5) T. Urbanski, "Chemistry and Technology of Explosives”, Vo1.2, 62, Pergamon Press (1965).

6) J. A. Britten and C. K. Westbrook, Proc. Twenty-Third Symposium on Combustion, 195-202, The Combustion Institute, Pittsburg (1990).

7) 火薬学会，EXPLOSION投稿規程，http://www.jes.or.jp/mag/expl/\_rule.html (参照日:2020年4月1日).

**4. PDFファイル作成時の注意事項**

PDFファイルを作成する際には，フォントが埋め込まれるようにしてください。Adobe Acrobatを使用する場合は，設定画面の「PDF設定」を「高品質印刷」又は「プレス品質」にして作成すると，全てのフォントが埋め込まれる設定になります。フォントの埋め込みを確認するには，作成したPDFファイルをAdobe Readerで開き，「ファイル」メニューから「プロパティ」を選択し，表示された「文書のプロパティ」ウィンドウの「フォント」タブをクリックすると，各フォント名の横に“（埋め込み）”又は“（埋め込みサブセット）”と記載されていれば，フォントが埋め込まれていることが確認できます。

PDFファイルを作成したのちに，PDFファイル上で修正等を行うと，編集の際に文字化けが発生したり，レイアウトが崩れたりすることがありますので，注意してください。

文字化けやレイアウトの崩れがないことや，図の解像度・鮮明さの確認のため，PDFファイルを作成したパソコンとは別のパソコンでプリントアウトすることをお勧めします。

なお，各ソフトウエアの使用方法に関するご質問には，学会事務局や研究発表会受付担当ではお答えできませんので，ご了承ください。

PDFファイルのサイズが大きい場合は，送付時や編集時，閲覧時に負荷がかかることから，6 MBを超えないよう，作成してください。6 MBを超えるファイルを送付しようした場合は，送付ページに記載したものが全て空欄になり送付できない仕組みになっており，原稿送付フォームが利用できませんので，図１の学会事務局又は研究発表会受付担当まで連絡してください。

**5. 原稿送付方法**

火薬学会のホームページ(http://www.jes. or.jp/)からリンクされている講演申込ページ内にある「原稿送付フォーム」から送付してください。それ以外での送付を希望する場合は，図1の学会事務局まで問い合わせてください。

**最終改訂日**

2022年7月8日